

【第1部】基礎編（Q1～Q20）

- Q1. 答え：格助詞「にて」（場所） 解説：「京で生まれる」。
- Q2. 答え：格助詞「とて」（引用） 解説：「『行く』と言って立った」。
- Q3. 答え：格助詞「にて」（手段） 解説：「弓で射る」。
- Q4. 答え：格助詞「とて」（原因） 解説：「病気だと言って休む」。
- Q5. 答え：格助詞「して」（使役対象） 解説：「人を使って取らせる」。
- Q6. 答え：格助詞「にて」（時間） 解説：「三日で帰る」。
- Q7. 答え：格助詞「にて」（原因） 解説：「嵐で舟が壊れる」。
- Q8. 答え：格助詞「にて」（資格・身分） 解説：「お供として参上する」。
- Q9. 答え：格助詞「とて」（引用） 解説：「『来た』と言って喜ぶ」。
- Q10. 答え：格助詞「して」（道具） 解説：「手で書く」。
- Q11. 答え：格助詞「して」（共同） 解説：「友と一緒に行く」。
- Q12. 答え：格助詞「にて」（資格） 解説：「公の使いとして派遣する」。
- Q13. 答え：格助詞「とて」（原因） 解説：「戦だと言って逃げ出す」。
- Q14. 答え：格助詞「して」（使役対象） 解説：「弟に仕事をさせる」。
- Q15. 答え：格助詞「にて」（時間） 解説：「一日で仕上げる」。
- Q16. 答え：格助詞「とて」（引用） 解説：「『お待ちください』と告げる」。
- Q17. 答え：格助詞「して」（道具） 解説：「紙で包む」。
- Q18. 答え：格助詞「にて」（場所） 解説：「川で舟を漕ぐ」。
- Q19. 答え：格助詞「して」（使役対象） 解説：「子に書かせる」。
- Q20. 答え：格助詞「とて」（引用） 解説：「『私も』と言って乗った」。

【第2部】標準編（Q21～Q50）

- Q21. 答え：格助詞「にて」（場所） 解説：「寺で行う」。
- Q22. 答え：格助詞「とて」（引用） 解説：「『いざいっしょい』と言って誘う」。
- Q23. 答え：格助詞「にて」（手段） 解説：「太刀で斬る」。
- Q24. 答え：格助詞「とて」（原因） 解説：「風邪だと言ってお休みになる」。
- Q25. 答え：格助詞「して」（使役対象） 解説：「童に買わせる」。
- Q26. 答え：格助詞「にて」（時間） 解説：「七日で京に着く」。
- Q27. 答え：格助詞「にて」（原因） 解説：「大雨で川を越えにくい」。
- Q28. 答え：格助詞「とて」（引用） 解説：「『ああ』と言って涙ぐむ」。
- Q29. 答え：格助詞「して」（道具） 解説：「筆で書き表す」。
- Q30. 答え：格助詞「して」（使役対象） 解説：「兄に行かせる」。

- Q31. 答え：格助詞「にて」（場所） 解説：「庭で遊ぶ」。
- Q32. 答え：格助詞「して」（使役対象） 解説：「主君によって（に命じて）遣わす」。
- Q33. 答え：格助詞「とて」（引用） 解説：「『心穏やかでない』と言って怒る」。
- Q34. 答え：格助詞「にて」（手段） 解説：「馬で駆ける」。
- Q35. 答え：格助詞「して」（共同） 解説：「友と一緒に遊ぶ」。
- Q36. 答え：格助詞「にて」（場所） 解説：「海で死ぬ」。
- Q37. 答え：格助詞「とて」（目的・引用的） 解説：「『世を捨てよう』と言って山に入る」。
- Q38. 答え：格助詞「にて」（手段） 解説：「矢で射殺す」。
- Q39. 答え：格助詞「とて」（原因） 解説：「風邪気味だと言って伏せる」。
- Q40. 答え：格助詞「して」（使役対象） 解説：「童子をして遣わす（童子に遣わさせる）」。
- Q41. 答え：格助詞「にて」（場所） 解説：「山中で経を読む」。
- Q42. 答え：格助詞「とて」（引用） 解説：「『私は知らない』と言って逃げる」。
- Q43. 答え：格助詞「にて」（時間） 解説：「半日で読み終える」。
- Q44. 答え：格助詞「にて」（手段） 解説：「言葉で議論する」。
- Q45. 答え：格助詞「して」（共同） 解説：「我ら二人で歌を詠み交わす」。
- Q46. 答え：格助詞「とて」（引用） 解説：「『明日来よう』と言って別れる」。
- Q47. 答え：格助詞「にて」（原因） 解説：「油断でしくじる」。
- Q48. 答え：格助詞「して」（道具） 解説：「道具で作る」。
- Q49. 答え：格助詞「とて」（引用） 解説：「『夢のようだ』と言って嘆く」。
- Q50. 答え：格助詞「にて」（資格） 解説：「君のお供として参上なさる」。

【第3部】応用編（Q51～Q80）

- Q51. 答え：格助詞「にて」（資格） 解説：「御使いとして遣わされる」。
- Q52. 答え：格助詞「とて」（引用） 解説：「『ああ』と言って涙を落とした」。
- Q53. 答え：格助詞「して」（手段＝媒介） 解説：「御文を媒介として（御文をもって）差し上げる」。
- Q54. 答え：（接続助詞的）原因 解説：「雨がひどく降るので、出かけられない」。連体形＋「にて」は原因として接続助詞的に働く。
- Q55. 答え：格助詞「して」（使役対象） 解説：「大納言に取り寄せさせる」。
- Q56. 答え：格助詞「とて」（引用） 解説：「『大変嬉しい』と言ってほほえむ」。
- Q57. 答え：格助詞「して」（共同） 解説：「三人で舟を漕ぐ」。
- Q58. 答え：格助詞「にて」（手段） 解説：「海路で参るべきだ」。係り結び「こそ～べけれ」。
- Q59. 答え：格助詞「とて」（引用） 解説：「『私も』と言って走り寄る」。
- Q60. 答え：格助詞「して」（使役対象） 解説：「童に御文を差し上げさせる」。
- Q61. 答え：格助詞「にて」（資格） 解説：「法師として世を渡る」。
- Q62. 答え：格助詞「とて」（引用・原因） 解説：「『行幸がある』というので参上する人が多い」。

- Q63. 答え：格助詞「して」（単独） 解説：「一人で山に住む」。人数を表す語＋「して」は動作を行う人数を示す。「一人して」は単独の意で、「二人して」「三人して」のように複数なら共同。
- Q64. 答え：格助詞「にて」（手段・道具） 解説：「蓑で身を覆う」。
- Q65. 答え：格助詞「とて」（引用） 解説：「『情けない』と言って嘆くことが多い」。
- Q66. 答え：格助詞「して」（道具） 解説：「笛で呼び寄せる」。
- Q67. 答え：格助詞「にて」（状態） 解説：「私一人で過ごす」。
- Q68. 答え：格助詞「とて」（原因） 解説：「老いの身だと言って心細い」。
- Q69. 答え：格助詞「にて」（手段） 解説：「御車でお渡りになる」。
- Q70. 答え：格助詞「とて」（引用） 解説：「『念じなさい』と言って励ます」。
- Q71. 答え：格助詞「して」（共同） 解説：「二人で趣のある歌を詠む」。
- Q72. 答え：格助詞「にて」（場所） 解説：「御所でご遊びがある」。
- Q73. 答え：格助詞「とて」（引用） 解説：「『つらい』と言って泣く」。
- Q74. 答え：格助詞「して」（使役対象＝媒介） 解説：「鳥に御文を運ばせる」。
- Q75. 答え：格助詞「にて」（原因） 解説：「病で世を捨てる」。
- Q76. 答え：格助詞「とて」（引用） 解説：「『御前にお召しよ』と言って人を遣わす」。
- Q77. 答え：格助詞「して」（道具・抽象） 解説：「心を用いて事を行う」。
- Q78. 答え：格助詞「にて」（手段） 解説：「手紙でお告げになる」。
- Q79. 答え：格助詞「とて」（引用） 解説：「『見たい』と言ってお寄りになる」。
- Q80. 答え：格助詞「して」（使役対象） 解説：「国守に命じて呼び下す」。

【第4部】入試レベル（Q81～Q100）

- Q81. 答え：格助詞「にて」（場所） 解説：「ある男が、宮中で仕える」。
- Q82. 答え：格助詞「とて」（引用） 解説：「『夢のような気持ちだ』と言って一向に起きない」。
- Q83. 答え：格助詞「にて」（手段） 解説：「牛で車を引かせる」。
- Q84. 答え：格助詞「とて」（原因） 解説：「心配りがよいことだと言ってもてはやされる」。
- Q85. 答え：格助詞「して」（使役対象） 解説：「上達部に御文を差し上げさせる」。
- Q86. 答え：格助詞「にて」（原因） 解説：「朝霜で草がしおれる」。
- Q87. 答え：格助詞「とて」（引用・目的） 解説：「『世にあるまい』と言って世を背く」。
- Q88. 答え：格助詞「にて」（手段） 解説：「御文で心を述べる」。
- Q89. 答え：格助詞「して」（使役対象） 解説：「私に命じて遣わすような人はいないだろう」。
- Q90. 答え：格助詞「にて」（時間） 解説：「明け方に鶏が鳴く」。
- Q91. 答え：格助詞「とて」（引用・原因） 解説：「『行ききれない』と言って泣き伏す」。
- Q92. 答え：格助詞「して」（使役対象） 解説：「神に祈らせる」。
- Q93. 答え：格助詞「にて」（資格） 解説：「山伏として諸国を巡る」。
- Q94. 答え：格助詞「とて」（引用） 解説：「『すぐ参ります』と言って急いで出る」。

Q95. 答え：格助詞「にて」（手段・道具） **解説：**「翁は杖で身を支える」。

Q96. 答え：格助詞「とて」（引用） **解説：**「『情けないことだ』と言って人々が笑う」。

Q97. 答え：格助詞「して」（使役対象） **解説：**「弟子に読み習わせる」。

Q98. 答え：格助詞「にて」（手段） **解説：**「物で包んで遣わす」。

Q99. 答え：格助詞「とて」（引用・目的） **解説：**「『世のために』と言って自身をかえりみない」。

Q100. 答え：格助詞「にて」（資格・状態＝断定的） **解説：**「とても幼い子であって、まだ物を言うべき頃でない」。

※ ここは「であって」と訳す「断定の助動詞『なり』連用形『に』＋接続助詞『て』」の解釈も成立する。文脈で判別。